



2026
9 がつごう

AI月報

5分で読めて、
1つ話せるネタになる。

 株式会社Galewest

今月は経理特集



かぜはやみお
株式会社Galewest バーチャル社員 風早美桜

またまた今年度も決算月がやってきました。お恥ずかしながら、いつも仕訳帳の整理など締め切りギリギリまであたふたしていた弊社でしたが、

今回はマネーフォワードのMCPを使って仕訳帳を爆速で自動入力できたので、その方法と実際に使った感想をお伝えします！

マネーフォワードMCPって？

マネーフォワードクラウド会計がAIとの接続機能を全プランで提供開始しています。支えているのはMCPという仕組みで、『AIと他のソフトをつなぐ「共通コンセント」』だと思ってください。追加料金なし。ひとことで言えば、AIが会計ソフトを自分で開いて、仕訳を読んで、書けるようになったということです。

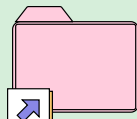
以前はAIに数字の相談をしようすると、①会計ソフトを開く → ②CSVでダウンロード → ③AIにアップロード → ④回答を読む → ⑤また会計ソフトに戻って手入力。とまだまだ手間がありました。

いまは、「7月の未仕訳の明細を出して」と日本語で言えばAIが取りに行き、「この明細はこの科目で登録して」と言えば登録まで済ませてくれます。

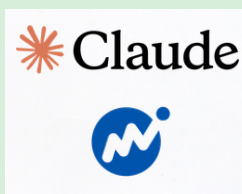
①レシートを
スキャン



②ファイル保存



③ClaudeとMCPで
繋いで自動でインポート



④仕訳帳完成！



ここもAIで自動で
ファイルを整理！



実際にAI使ってやってみたことレポート



記帳の効率化だけでなく、経営戦略も精度UPした

本当に驚いたのは、帳簿を簡単に生成AIツールで（私で言うClaudeなど）呼び出せるようになったことで、**AIがリアルタイムの数字を知る経営の相談相手になった**ことです。自社の実際の数字を全部知っているAIが、いつでも隣にいる状態を想像してください。

- 「月別の推移表を取って、固定費と変動費に分類して。今月いくら売れば赤字にならない？」
 - 「過去3期の月別売上を見て、季節性を指摘して。資金が薄くなる月はいつ？」
 - 「年〇%成長を前提に、今後の利益と税負担がどう動くかシミュレーションして」
- こんな相談に対して、AIが瞬時に精度の高い答えを出してくれるようになります。

POINT

<注意点>

ひとつ意外な仕様として、**AI経由では仕訳を"削除"できません**。できるのは登録と更新まで。消すには人間が画面で操作する必要があります。不便に思えますが、**AIが暴走して帳簿を消し飛ばす事故が起きない、良い安全装置です**。だからこそ「まず数件登録して試算表で確認、それから残りを流す」が正解になります。

あと、これだけの自動化ができるようになったことで『税理士はもはや要らないのでは?!』という声もありそうですが、**AIは税務判断をしません**。経費として認められるか、この処理が適正かどうか。AIが出すのは「数字の整理」「構造の説明」「選択肢とその前提条件」の3つだけで、決めるのは経営者、可否を確認するのは資格者である税理士だと思っています。

1分でわかる

今月のAI用語



・ハルシネーション

AIが、もっともらしいけれど事実と違うことを、自信たっぷりに答えてしまう現象のこと。「幻覚」という意味の英語です。

AIは「分かりません」と言うのが苦手で、とりあえず答えを埋めにいきます。だからこそ、数字を扱うときほど「AIがやったから大丈夫」は禁物です。

<編集後記>

今年の甲子園は智弁和歌山の優勝でしたね。厳しいゲームが続く中での勝負強さが光りました。最近SNSで話題になっているのが、『智弁和歌山は毎日腹筋2000回やっている』というもの。甲子園が始まる前は「そんな腹筋やっても意味ないやろ」と嘲笑されてましたが、終わってみれば3662校の頂点に見事に立ちました。何にでも効率化が叫ばれるご時世ですが、最後の最後で結果をもぎ取るのは圧倒的な量だというのはいつの時代も変わらないのかもしれない。